



夢中になる体験ができたこと

校長 成田 弥生

移動教室（自然体験教室）と夏の地域行事

40日の夏休みを元気に過ごし、明るい笑顔の子供たちが学校に戻ってきました。夏休みにも学校行事、地域行事がいくつかありました。

5年生は長野の飯山、6年生は栃木の日光にそれぞれ移動教室に出かけました。

自然豊かな環境の中で、お天気にも恵まれてハイキングを行ったり、珍しい動植物と出逢ったりするなど、日常生活では体験できないことに挑戦することができました。5年生の魚つかみでは、当初は怖がっている子もいましたが、次第に慣れていき、コツを掴んで何匹も捕まえる子もいました。家庭から離れて仲間と生活をする中で、班の友達と協力し合って活動する良さを実感することができました。



また、この夏休みはラジオ体操への参加や4年ぶりの開催となった恵比寿盆踊り大会や爽涼祭りなど地域のお祭りへ参加した子もたくさんいました。踊り子や子供スタッフとして参加して、楽しんでいました。盆踊り大会では元気いっぱい伸び伸びと踊る姿に地域の方からも声援が飛び交い、思い出に残る素敵なひとコマとなりました。

このような貴重な機会を設けてくださった保護者・地域の方に感謝申し上げます。

40日前、夏休みを迎える会で、児童にこのような話をしました。

「人は『三つのたい』をもっている。その『たい』ができたときに幸せや達成感を感じるそうです。その『三つのたい』は **〇やりたい** **〇認められたい** **〇役に立ちたい**」と。

きっとこの夏、子供たちの「たい」が実現でき、幸せな時間を過ごしたことと思います。

いよいよ金山交流

さて、本日よりステップ（前期の後半）が始まります。9月8日（金）から9日（土）には金山の5・6年生児童と保護者、金山地域代表の方をお迎えします。

担当の保護者の方、金山を支える会の方と準備を重ねて参りました。子供たちも贈り物の準備や歓迎の曲、共に歌う「鳩よ、翔べ!!」の練習など、金山の子たちを迎えるための時間も含めて、楽しんで当日を迎えたいと思います。

先日、脳科学者の話を聞く機会がありました。オンラインや動画視聴などデジタルでの情報を得る機会が増えた現代ですが、デジタルの体験では脳の前頭葉は刺激をされず、心の動きも少なく記憶に残りにくい。一方で対面での交流や体験は心の動きも大きく、いつまでも記憶に鮮明に残っていくとデータでも示されていました。大人になっても小学校時代の楽しい素敵な思い出として記憶に残り、ワクワク心躍る「子供も大人も笑顔あふれる楽しい金山交流」にしていきたいと思います。